

- 3) 仲居祐之：大学生のための禁煙講座，牧歌舎，2006
- 4) クリスティーナ・イヴィングス(著)，作田学(監修)：喫煙の心理学，産調出版，2007
- 5) 日本禁煙学会(編)：禁煙学，南山堂，2007
- 6) 原田正平・他：喫煙による子供の健康被害，小児科臨床 **61**(3)：345-404，2008
- 7) 日本呼吸器学会喫煙問題に関する検討委員会(編)：禁煙治療マニュアル，社団法人日本呼吸器学会，2009
- 8) 大和浩：わが国の今後の喫煙対策と受動喫煙対策の方向性とその推進に関する研究，厚生労働科学研究費補助金 循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業 平成20年度総括・分担研究報告書，2009
- 9) 滝澤始(編)：特集号 喫煙と内科疾患—エビデンスと対策，診断と治療 **97**(7)，2009
- 10) 広瀬俊雄：職場での禁煙指導，治療 **86**(3)：954-958，2004
- 11) 厚生労働省安全衛生部環境改善室(監修)：職場の喫煙対策のすすめ，中央労働災害防止協会，2004
- 12) 岡山明：喫煙と内分泌疾患との関係—特にメタボリックシンドロームの視点から，診断と治療 **97**(7)：1375-1379，2009

公衆衛生 書評

「質的データの取り扱い」

評者 神馬 征峰 東京大学大学院医学系研究科・国際地域保健学教室教授

質的研究が近年ハヤリになってきている。参考書も爆発的に増えている。しかしこの手法を用いて、卒論を書く、修士論文を書く、博士論文を書くとなると容易なことではない。本が増えるほどには教官の数は増えていない。教授の数も増えていない。図書館とて、厳しい選択の際、好んで多くの質的研究の参考書を買ってくれるわけではない。また状況は険しいのだ。

そういう中で質的研究を進めようとする際、頼りになるのは限られた数のよき参考書とよき友人である。本書はこれまでの質的研究の参考書とどこが異なるか？ これまでは量的手法との違い、パラダイムの違いなどが強調されてきた。質的研究の存在意義を主張するものが多かった。しかし、十分にその価値が認められるようになった英語圏の国において、「質的研究にとって大事なものは「はじめに手法ありき」ということではない。「はじめにデータありき」ということだ」と本書は主張する。

「データをして語らしめる」ということがよく言われる。実は、質的データをj得ることは量的データを得るよりもはるかにやさしい。難しいのはそれを「価値のある」データとしていくこと、自らをして語らしめるデータとしていくということである。そのためにも、データと向き合い、つきあい、加工して、データが何かを語ってくれるようにと強い働きかけをしていく必要がある。やがては、データから飛び立つことすらもできるように、本書にはデータとのつきあい方が具体的に示されて



L・リチャーズ(著)，大谷順子・大杉卓三(訳)，北大路書房(TEL：075-431-0361)：2009

いる。データの質を高めるためのデータ削減の作業の仕方、そのプロセスで表出してくるアイデアとのつきあい方、さらにデータの意味づけのプロセス、信頼性、妥当性のチェック、等々。

では、これらの作業を一人でやらないといけなひのか？ まだ十分とは言えない日本の研究環境では、そうせざるをえないかもしれない。しかし、著者は言う。「できるだけ、チーム作業をするように。無理なら、せめて聞いてくれる相手を探すように。そして話す習慣をつけなさい」と。友人に、監督者に、それが無理なら日記でもブログでもいい。「話しなさい。話すことは書くよりも気軽で、時間もとらないから。話すときは、一人称で話しなさい。それはあなたのプロジェクトなのだから…」

一人で質的研究に取り組む時代には終わりを告げなくてはならない。質的研究の質の向上のために、本書のようなよき参考書を得ること、そしてよき友人を得ること。今の日本の質的研究環境において、とても重要なことだと思う。

本誌の複写利用について

日頃より本誌をご購読いただき誠にありがとうございます。

ご承知のとおり、出版物の複写は著作権法の規定により原則として禁止されており、出版物を複写利用する場合は著作権者の許諾が必要とされています。弊社は本誌の複写利用にかかる権利の許諾ならびに複写使用料の徴収業務を(社)出版者著作権管理機構(JCOPY)に委託しております。本誌を複写利用される場合にはJCOPYにご連絡のうえ、許諾を得てください。JCOPYの連絡先は以下のとおりです。

一般社団法人 出版者著作権管理機構 (JCOPY)

所在地 〒162-0828 東京都新宿区袋町6 日本出版会館

電話 03-3513-6969 FAX 03-3513-6979 e-mail info@jcopy.or.jp

著作権法は著作権者の許諾なしに複写できる場合として、個人的にまたは家庭内その他これに準ずる限られた範囲で使用すること、あるいは政令で定められた図書館等において著作物の一部(雑誌にあっては掲載されている個々の文献の一部)を一人について一部提供すること、等を定めています。これらの条件に当てはまる場合には許諾は不要とされていますが、それ以外の場合、つまり企業内(政令で定められていない企業等の図書室、資料室等も含む)、研究施設内等で複写利用する場合や図書館等で雑誌論文を文献単位で複写する場合等については原則として全て許諾が必要です。

複写許諾手続の詳細についてはJCOPYにお問い合わせください。なお、複写利用単価を各論文の第1頁に、ISSN番号と共に表示しております。

(株)医学書院

質的データの取り扱い

L. リチャーズ著 大谷順子・大杉卓三訳 A5・304頁・3360円 文字テキストなどの定性(質的)データの取扱説明書ともいふべき、質的研究手法のガイドブック。「はじめにデータありき」のスタンスで、研究を行うために必要な手順や特定の研究手法に依存しないテクニックの詳細な説明を行う。

質的研究用語事典

T. A. シュワント著 伊藤 勇・徳川直人・内田 健監訳 A5・304頁・3360円 質的研究の重要用語約380について、一貫した立場から簡潔かつ明瞭な解説をほどこした用語集。質的研究の主要パラダイム、応用、各技法、専門用語の理解に必要な項目をほぼ網羅し、質的研究をめぐる考察の全体像を掴める。

北大路書房

〒603-8303

京都市北区紫野十二坊町12-8

☎075-431-0361 FAX 075-431-9393

<http://www.kitaohji.com>

振替 01050-4-2083

▶価格は定価(税込み)で表示しています

質的研究ハンドブック 全3巻

N. K. デンジン・Y. S. リンカン著 平山清義監訳 B5・368頁~496頁・4830~5880円 量的研究の単なる代替ではなく、研究者と研究対象との関係を問い直し、研究者のあり方・調査研究そのものを変革させた質的研究。本シリーズはその質的研究のアプローチ全体を専門的・網羅的に見渡せる待望の書である。

科学と社会的不平等

フェミニズム、ポストコロニアリズムからの科学批判— S. ハーディング著 森永康子訳 四六上製・328頁・2940円 客観性、合理性、価値中立性、真実など科学の中心的概念から科学と権力の共謀関係を問う。現代社会と科学の関係を批判的に考察してきた科学哲学者、ハーディングの本邦初訳。

Stataによる社会調査データの分析

石黒 格編著 2415円

誰も教えてくれなかった因子分析

松尾太加志・中村知晴著 2625円

クリティカルシンキング 研究論文篇

J. メルツォフ著/中澤 潤監訳 3990円

わかって楽しい心理統計法入門

松田文子・三宅幹子・橋本優花里著 2625円

本当にわかりやすいごく大切なことが書いてあるごく初歩の統計の本

吉田寿夫著 2625円

初めての心理学英語論文

D. シュワープ・B. シュワープ・高橋雅治著 1575円

SPSSのススメ1

竹原卓真著 3360円

共分散構造分析【事例編】

豊田秀樹編 3360円

心理学実験研究レポートの書き方

B. フィンドレイ著/郷江達郎・郷越久美子訳 1365円

公衆衛生

The Journal Of Public Health Practice

Vol.73 No.11
2009

11

November

特集

薬物乱用

